

ついこの間まで暑い暑いと文句を言っていたような気がするのに、いつの間にか道行く人の装いはすっかり冬支度を済ませている。街中に出でみれば、ちらほらとサルや注連縄などの縁起物が目に付くようになってきた。いよいよ師走、平成二十七年も過ぎ去ろうとしている。

杜のコラム

跡日の歳を過ぎた子どもたちの身体健全・福祉円満を祈願して五三・身体健全祈請会が厳修されました。期間中は多くの家庭連れが参拜し、晴れ着に身を包んだ子どもたちが色づき始めた秋の境内を一層にぎやかにしました。



家族で祝う七五三

秋の日に子どもたちの身体健全・福德円満を願う

一年をふりかえる、などという  
が今年何があつたかすぐに出で  
くる人というのは稀である。例  
えば元旦の天気を思い出してみ  
る。気象庁によれば名古屋は午  
後から雪が降つたようだが、はて  
：：そう首をかしげたくなつてしま  
う。たつた二年前のことときらきら  
と思い出せないとは、我々の記憶  
もまあいい加減なものだ。  
かといえば五年前だろうと十  
年前だろうといつまでも鮮やかに

記憶を失い続いている。意識しようとしようとした時、毎日の暮らしの中で何かを覚え、憶え、そして何かを忘れて生きているのだ。それであれば、忘れるという事をもつと大らかに捉え、肯定してもよいのではないか。いつまでも因われていれば、笑えない日もあつただろう。進めない道もあつただろう。

とある作家は本の中でこう言つた。「年月は、人間の救いである。忘却は、人間の救いである」と。

思い出される、そんな出来事や風景もあり、よくよく考えてみればこれも不思議なことだ。時間という大きな流れには逆らえないはずなのに、良くも悪くもある一定ラインを超えた強さが五感に触れれば、永く憶えていられるということなのか。

|                         |
|-------------------------|
| <b>特集</b>               |
| 新年授与品案内 ..... 3ページ      |
| 年末年始と新年初詣 ..... 6ページ    |
| 新年初祈禱・合同供養会 ..... 10ページ |

今月の「地域版ひと」「ことのはあそび」はお休みです

未来にいるそれぞれの仏さまへ  
己の日頃の行いを告白し、悔い改め  
る行事なのです。

礼拝は、立っている状態から正座  
になり両手をつけて頭を下げそして  
また立つ、これで一回です。これを  
三千の仏さまに行いますから…大変  
です。寒い本堂の中で、身体からだ  
気が立ちのぼるほどがんばります  
自分たちはもちろんのこと、懺悔行  
に参加できない人の分まで代わりに  
礼拝させていただきます。是非そ

物は何かござりますか?

茶色い毛で覆われ仲間の毛づくろい。テレビで見かければ温泉でほっこり…。そう、正解は「お猿さん」です!日本では古来より猿は山の賢者、山神の使いと信じられていました。信仰の対象としても馴染み深い動物です。

## ◆◆◆ 来年の干支は：◆◆◆

「三千仏佛名会」では、五日間にわたり僧侶が三千の仏さまの名前を読み上げながら礼拝（あやまつ）をいたします。これは懺悔行ともい、過去・現在

今年も残すところわずかとなりました。「師走」という文字通り、興正寺でも慌ただしい毎日が始まるとしています。そんな十二月の幕開けは、「三千仏佛名会」、別名「懺悔会」です。

# 寺通

高野正清

字が「申」に変わりますね。これは十二支が、草木の生長にあわせて一年を季節ごと十二に分けた昔の中国の農業暦が元になつてゐるからです。当時

わるこうした言葉や音のつながりも探っていくと  
面白いですね。

る時期、そのため多産であるネズミをあてはめた、初申の日（平成二十八年一月三日）、悪いことや病というような貝合です。猿があてはめられた「申」は、憂いが「去る」初申祈祷会を厳修します。神さまの草木が十分に伸びきった実りある時期、また「呻」（う）喧嘩で嫌なものに去つていただき実りの多き飛躍の年めくの意味）で、果実が成熟して固まって行く状態を表しているとされます。

ちなみに「申」はもともと「稲妻」を表し、同時に「雷」をも意味しました。雷は「神鳴り」とも書かれて神さまの咆哮ボウコウを表すそうです。「申」の「のぼり」で興正寺の大日如来さまを真つ赤な猿でいっ字に示偏をつければ「神」になります。下支に閑ぱいにしましょう。



△由日本高僧圓惠大師印來(翻刻)



△由日本药监局通过（未上市）

ツウの細道

今年も終わりが近づいています。十二月八日の大日如来縁日では「煤払い」を行います！ぜひ一緒に大日さまをきれいにしましょう。

「寺通」をご愛読いただきておりまます方々、本当にありがとうございました。来年も一生懸命書いていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



△大日堂釋法い



八事山 興正寺

# 新年の授与品 — 祈祷済 —

「申」は古来より発想や智恵の象徴とされてきました。「憂いが去る」「病が去る」と言葉を合わせ、悪を遠ざけて幸せを運ぶたいへん縁起のよい動物とされます。また安産としても知られ、子孫繁栄・夫婦和合の守護ともされています。そんな縁起のよい「申」をはじめとした、お正月の授与品をご紹介いたします。ご自身やご家族のため、また新年のご挨拶にいかがでしょう。いずれも数量限定です！

## ❖ 宝来

500円

宝来は、弘法大師・空海が中国からもたらしたと伝えられる切り絵で、しめ縄のように玄関や床の間、仏間に掛けます。お正月に掛け替えて、一年間飾ります。



## ❖ 千支絵馬

700円

絵馬には願い事、氏名、住所を書き入れて、境内に奉納します。願い事が叶ったら、必ずお礼参りをいたしましょう。



## ❖ 水墨画絵馬

1,000円

竹翠亭襖絵を描いていただいた水墨画家・山田大作先生の手による絵が絵馬になりました。授与数が限られていますのでお早めに。



お正月と言えばやっぱり**七福神**！

## ❖ 七福神人形

1,500円

ひとつずつ、職人さんの手作り！



## ❖ 七福神絵馬

1,500円

毎年色が変わります。  
来年は何色？

彩のきれいな  
七福神絵馬です。



わたしたち、  
大正7年生まれの申年です！  
来年も元気いっぱい、  
楽しむがね！



Endo Eimiさん 渡邊清子さん

## ❖ 千支根付

各500円

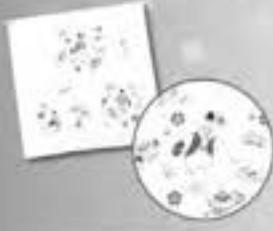
コロンとしたかわいい陶器の中の中におみくじが入っています。今年の運勢を確かめたあとは、縁起物として一年間おそばに置いてあげてください。



## ❖ 千支ガーラパンカチ

300円

ひとつでも小さくて可愛らしい、動物たちの根付です。十二種類の中、ご自分の干支を探すのも良し。ご家族にあげるのも良し。



十二年に一度の、

## ❖ 千支ガーラパンカチ

300円

ガーラゼ素材でできた、やさしい肌触りのパンカチ。日常使いはもちろんのこと、新年のご挨拶にも最適です。





①今年から登場したかわいらしい「役稚兒」 ②境内には願いを込めた燈籠が並んでる ③立ちはだかる二人の山伏。迫力ある問答が繰り広げられる ④毎年人気の「宝弓之儀」。6本の矢は争奪戦だ ⑤二人の松明師が大日如来の智慧の炎をいただく ⑥願いを書いた護摩木を焚き、空へとあがる炎

# 八事山歳時記

## 千燈供養会

— 千基の法灯で祈りを捧ぐ —

「千燈供養会」が十月十七日(土)・十八日(日)の二日間にわたり大日堂で厳修されました。総本尊大日如来の宝前で、真言秘奥の柴燈大護摩供を修する當山最大行事で、毎年多くの参拝客が訪れます。



## 身体健全祈祷会

興正寺の七五三

十月三十一日(土)より、七五三身体健全祈祷会が執り行われています。祈祷は智慧授けの虚空藏菩薩さま、子どもを守る地蔵菩薩さまがいらっしゃる能満堂にて行われ、家族そろって子どもたちの健やかな成長を願いました。

祈祷料 五千円・一万円(安産本札授与)

10月21(土)・22(日)

## 七五三 身体健全祈祷会

各日 10時・11時・12時・13時・15時 能満堂にて

○対象 平成二十七年度  
平成二十一年生まれ(七歳)  
平成二十三年生まれ(五歳)  
平成二十五年生まれ(三歳)  
満年齢でも受付いたします。

※いずれも要予約。日時をご指定ください。  
※右記日時以外は個別祈禱にて承ります。

12月12(土)・24(木)

1月17(日)・29(金)

## 戌の日 安産合同祈祷会(要予約)

14時より 西山本堂にて ※1月17日は10時より  
古来より興正寺は安産の名利として信仰されております。

子宝・安産守護として「大隨求陀羅尼」の御守をお持ちいただき、安産祈願を勤めてあります。

祈祷料

五千円(御守付)

合格祈願 14時 能満堂にて

10月～2月(第2・4日曜)

祈祷料 五千円(特別御幣・御守付)



興正寺能満堂の御本尊・虚空藏菩薩は智慧や知識を授ける仏さま。古くから「智慧守り」として篤く信仰されてきた虚空藏菩薩へ、進学・就職・各種資格への合格を、祈願いたします。

合格祈願







# 新年、初詣



興正寺で過ごす懐かしのお正月。

## 新年初遊び



興正寺  
**年末年始のスケジュール**

大晦日  
22時30分 第九コンサート

23時30分 庭儀晦日法要

観音堂前で法要(僧侶のみ)

僧侶により除夜の鐘開始

23時45分 除夜の鐘(参拝者)

平成28年 元旦  
0時より 新年初祈祷会





寺  
通  
宝  
心

## 寺宝公開⑭ 空也茶せん売り

空也上人は平安時代中期の僧です。若くして諸国を行脚し、二十歳をこえて得度し「空也」と自称しました。その後京に上り、乞食をしながら貧困や病に苦しむ市井の人々の救済に力を注ぎ、阿弥陀聖・念佛聖と呼ばされました。

天暦五年（九五一年）に京都で病が流行した時、空也上人が祇園社に参籠したところ、清水寺に十二面観音を作り安置するようにとお告げがありました。そこで、作り上げた観音像を車に乗せて市中をまわり、茶を煎じて茶筅で振り立てたものを病人に勧めたところ、病が治まつたといいます。以後、時の天皇が年の始めにお茶を服するようになり、年賀の行事として一般に広まりました。そのお茶は「玉服茶」から転じて「大福茶」となりました。

実は、空也堂の僧侶が売り歩く茶筅は粗く、品物としては今ひとつだったようですが、空也上人の逸話と当時の煎茶が流行したことによって、なかなかの人気がだつたそうです。

（川村）

＊普門園拝観 五百円（呈茶付）

現在も新春にのみされています。

これに由来し、事始めから大晦日まで

の間、空也堂の僧が手製の茶筅を売り歩く姿が見られるようになりました。

絵の僧を見てみると、竹ざおにつけた

葉のツトに竹ぐしを刺し、そこに茶筅を

挿し、下駄を鳴らして歩いています。腰

には空也堂の僧侶であることを示す瓢箪を付けています。茶筅を求める家があると、ツトごと突き出して好みのものを選ばせたといいますが、いかにも愛想がないではありませんか。顔をあげ、

ちょっとすまし顔で歩く姿は、あえて演じているように見えます。

さて、まだ新緑の頃、一組のご夫婦が竹翠亭の入口で

中に入ろうかどうしようかと迷つていらっしゃるようでしたので、声をかけさせていただきました。

ゆづくりお茶を召し上がり、庭や宝札をご覽になりながらお話をさつたのは、亡くなられたお母さまがお寺にお参りにいらした際、たびたび竹翠亭でお茶を召し上げていたということ。

生前は二緒にいらっしゃる機会はなかったそうですが、亡くなられてから、「母が行つたところに行つてみよう」と夫婦で話し合い、お越しくださいたのです。

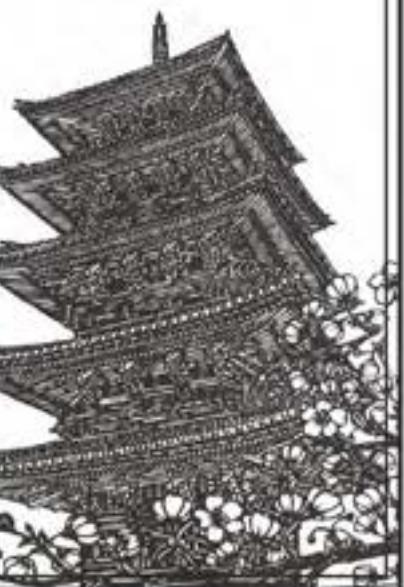
「母もここで、こうして楽しんでいたんですね。入口で声をかけてもらえてよかったです」とおっしゃっていました。

いえ、きっとお母さまが入口で背中を押されたのだと

思います。このような思いでお寺のお茶室に足を運んでくださる方もいらっしゃることを改めて教えていたたきました。

ありがとうございます。

竹翠亭のもみじは見ごろを迎えますと、まさに息を飲む美しさです。どうぞまたお出かけください。お待ちしております。



## 竹翠亭 はつ雪茶会



日 時：平成27年12月21日(月)  
○一席目／14時～ ○二席目／16時～  
○三席目／18時～ ※各回1時間程度  
定 員：各回30名・要予約  
参加費：2,000円(普門園拝観料含む)

同時開催  
ギャラリー企画

金沢の伝統工芸である水引細工を現代的にアレンジした「自遊花人」の水引作品を展示・販売

### 普門園拝観のご案内

拝観料:500円(呈茶付)

本堂奥に広がる普門園には、多くの方が訪れてくださいます。普門園入口となる竹翠亭はお茶室で、お抹茶と季節の和菓子をお召し上がりいただけます。竹翠亭へは、右記の経路でお越しくださいませ。(経路が変更となり、本堂からはお越しいただけません)



## 竹翠だより

お茶が教えてくれた  
あわせ

今年も各地からもみじの便りが届き、境内でも秋の美しい風景に出会える頃となりました。

季節が移ろうことに趣が変わることで、竹翠亭ですが、この時期はまた格別です。

まず入口の石庭越しのもみじ、茶室から見る冠木門ともみじ、そして

若庭に舞うもみじ。一服のお茶とともに味わってみてはいかがでしょう。



同じ場所 同じお茶



燈籠とは、智慧の灯火を意味しており萬民豊樂・先祖供養・慈父悲母、そしてご自身の願いのために永代に奉ります。奉納いただきました燈籠は興正寺本堂や圓照堂、各御堂にて皆さまの心の拠り所として光を灯し続けます。

### 永代千基燈籠・永代特別燈籠の二案内



△後世に残る素晴らしいものを奉納いただきました  
「圓照堂山号額」一架  
「金瀬製和幡」一对  
桜木文子 梶田よし子

至自  
平成二十七年十月一日  
平成二十七年十月三十一日

(順不同敬称略)  
八事山 興正寺

△後世に残る素晴らしいものを奉納いただきました  
「圓照堂山号額」一架  
「金瀬製和幡」一对  
桜木文子 梶田よし子

植樹・献木

志納ご芳名

平成大改修

志納ご芳名

## お坊さんと行く 興正寺団体参拝

### 知多四国霊場巡拝(第5回)

前回 高野正清



一年間をかけて全5回で参拝いたしました、知多四国霊場八十八ヶ所巡拝が無事に成りました。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。最初より雨が続き(台風での延期もありました…),このまま雨続きなのかと心配していましたが第4回・5回と気持ちの良い青空の下で参拝することができました。皆さまとお会いする機会が減ってしまうと思うと本当に淋しいので、ぜひ興正寺に引き続きお参りにお越しください。

来年も皆さまと楽しくお参りできるよう、団体参拝を企画しております。ご参加を心よりお待ちしております。 合掌

## 出張法話承ります

興正寺では地域の社会福祉施設に出向く「出張法話」を承っております。「お寺に行きたいけど、足が悪くていけない」「お坊さんのお話が聞いてみたい」と感じている皆さまに好評いただいております。ご興味がある方がいらっしゃいましたら、下記連絡先にお問合せくださいませ!



△10月26日 希望の郷 大治 (高野正清)

八事山興正寺 出張法話担当 後藤 052-832-2801

いちにちしうようえ

## 一日修養会

12月6日(日)  
10時~14時頃

~仏教のみなもと釈迦牟尼仏~『日本の釈迦信仰』  
・諸堂縁日法話④『弘法堂 弘法大師』・写経

### ◇日本の釈迦信仰

【担当: 桑田英伸僧侶】

涅槃の儀式を作り上げた鎌倉時代の僧侶・明惠上人は、自分の作った台本の「お釈迦さまの、青い蓮のような眼は閉じ、永く慈悲の微笑みも止まり、赤かった唇も開くことなく、ついにあの安らかなお声も聞けなくなってしまった」というくだりで、感極まって氣を失ってしまった、のだと日本では歴史の上で繰り返し「釈迦信仰」が盛んになりますが、そのヒミツとは…? 興正寺の大仏さまにもつながる、日本における釈迦信仰・舍利信仰の系譜をご紹介いたします。

修養会、一年の総まとめもあります。ふるってご参加ください!

### ◇諸堂縁日法話④『弘法堂 弘法大師』 [担当: 三井正優僧侶]

當山には、毎月5日・13日・21日の縁日以外にも各諸堂にてお勤めする諸堂縁日があります。今回は、毎月21日に行っている『弘法堂 弘法大師』。天瑞圓照和尚の百回忌に建立され、開山堂ともいわれています。堂内にある天瑞圓照和尚像、弘法大師像、興正菩薩寂尊など、歴史ある諸堂と本尊についてわかりやすく紹介します。絵解きも行いますよ。現地での解説もあります。(荒天の場合は現地には行きません) 来弘法堂へは徒歩で移動します。(片道約10分)

○支 具 料 : 2,000円(昼食付)

社の皆会員1,000円

※永代供養、墓地をお持ちの方

○定 員 : 60名 要予約 ○申込締切 : 12月3日(木)

お問合せ・お申し込み: 光明殿受付 0120-8510-78

# 年末年始は、家族そろってお寺でお参り

## ◆新年初祈禱会 西山本堂にて／祈禱料 5,000円

一年のはじまりに、皆さま方の幸せや健康、心願成就を祈念し特別護摩祈禱を厳修いたします。  
家族揃って、新たな一年の始まりに八事山興正寺へお参りください。

| 時間    | 0:00 | 1:00 | 10:00     | 11:00 | 13:00 | 15:00 |
|-------|------|------|-----------|-------|-------|-------|
| 日     | ○    | ○    | ○         | ○     | ○     | ○     |
| 1日(金) | ○    | ○    | ○         | ○     | ○     | ○     |
| 2日(土) |      |      | ○         | ○     | ○     | ○     |
| 3日(日) |      |      | ○         | ○     | ○     | 初申    |
| 4日(月) |      |      | ○         | ○     | ○     | ○     |
| 5日(火) |      |      | 10:30 大般若 |       | ○     | ○     |



△記念品と新年祈禱札

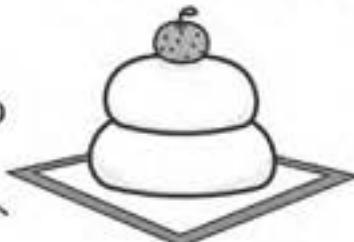
## ◆お正月 奉納餅のご案内

新年を迎えるに当たり、本堂・諸堂に奉納する鏡餅を募集しております。

◎奉納餅 1,000円

大きな奉納餅をご希望の方は個別に承ります。

お申し込みは納経所・圓照堂へ  
(12月25日まで)



※ご奉納いただいたお餅は、仏さまにお供えするためのお餅です。  
販売するものではありません。

## ◆大般若經転讀祈禱会

1月5日(火)10時30分より 西山本堂にて

大般若經という600巻・文字数60億3千万語におよぶお經を、「転讀」という特殊な読み方をし、国家安寧や厄除・身体健全をご祈願いたします。

特別祈禱席

—厄除仏石加持祈禱—  
3,000円(散華5枚セット授与)



## ◆合同供養会 圓照堂にて／供養料 5,000円

※お墓や納骨の有無に関わらず、どなたでもご参加できます。

| 時間     | 8:00 | 12:00 | 14:00 | 16:00 |
|--------|------|-------|-------|-------|
| 日      | ○    | ○     | ○     | ○     |
| 31日(木) | ○    | ○     | ○     | ○     |
| 1日(金)  | ○    | ○     | ○     | ○     |
| 2日(土)  | ○    | ○     | ○     | ○     |
| 3日(日)  | ○    | ○     | ○     | ○     |

※圓照堂では期間中、お骨・お位牌が出せませんのでご了承ください。

この一年を無事に過ごせたことへの感謝を伝え  
やってくる新たな年の加護をお願いする。

「ご命日」、春と秋の「お彼岸」、「お盆」、そしてこの「年末年始」。ご供養の機会として年に5回、お参りするとよいと言われています。特にこの年末年始は、一年間大きな災厄なく無事に過ごせたことへの感謝と、新たに始まる一年の加護を願う大切な機会です。家族そろって参拝し、亡き方々へ元気な顔をお見せしましょう。

## 団体祈禱のご案内

八事山興正寺では団体祈禱および団体車両祈禱を承っております。  
商売繁昌・身体健全・交通安全など皆さまの願意をご祈祷させていただきます。  
(◆日時／要相談 ◆人数・台数／随意 ◆出張／可能)

<祈禱料> いずれも御札(車両祈禱は交通安全御守)付

◎僧侶3名以上／金 3万円 ◎僧侶5名以上／金 5万円  
◎僧侶7名以上／金 10万円

(お問い合わせ)052-832-2801 担当 満園



## 12月の興正寺講座

### 仏讃歌

**御詠歌上級** 講師 鈴村隆弘

12月1日・11日・17日 13時30分より

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

光明殿

### 御詠歌初級

講師 鈴村智弘

12月6日・12日・21日 14時より

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。21日は本堂出仕。

光明殿

### 体験する

**阿息観(密教禪)** 講師 杉浦宣秀

12月10日・20日 14時より

普照殿

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっています。誰でも心地よくリラックスできますよ!

**阿字観(密教禪)** 講師 杉浦宣弘

今月は休講いたします

奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

**写経・写仏** 講師 樹田英伸

12月21日 11時30分より

光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

### セミナー

**お寺の終活セミナー**

12月11日・12日 13時より

セミナー 林直子氏

法話 樹田英伸

全4回開催。※2日とも内容は同じです  
第4回「相続と遺言」※参加無料・要予約

### 学ぶ

**仏教入門講座** 講師 森田泰澄

12月17日 14時より

普照殿

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。  
脱線話も多いので気楽に参加できますよ。**仏典読み解き講座** 講師 樹田英伸

12月18日 10時より

普照殿

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

### 遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる  
少人数制の講座です。

### 写経

12月15日 講師 西山海良 12月16日 講師 小松永明

### 阿息観

12月22日 講師 西山海良

### 茶の湯

12月15日 講師 菱田操

いずれも要予約

午前の部10時

午後の部14時

支具料1,000円

(きもの装い2,000円)

### きもの装い

12月9日 講師 小泉美代子

### 茶の古典を読む会

毎月第2木曜日10時より

今月は休講いたします

支具料1,000円

### 心のままに 水墨画

毎月第4金曜日14時より

12月25日 講師 山田静舟氏

支具料2,000円

※初回のみ道具の購入があります。詳細はお問い合わせください

### ◆シリーズ お寺の終活セミナー〈全4回〉

参加無料・要予約

### 第4回「相続と遺言」 12月11日(金)・12日(土)

お寺の終活セミナーでは、終活について総合的に学んでいただけます。じっくり取り組んで終活ノートを完成しませんか?今年のセミナーに参加いただいた方には、終活カウンセラー協会監修の「終活ノート」を進呈しています。(※一人一冊限り)

第4回目は相続・贈与・遺言書の基礎知識と自分史年表などについて勉強していきます。ワークショップでは「形見分けシート」、「死ぬまでにやっておきたい3つのこと」を行います。興正寺僧侶による「終活に役立つ法話」も毎回ありますので、ぜひお気軽にご参加ください。

■講師 終活セミナー／一般社団法人終活カウンセラー協会 認定カウンセラー 林直子氏 ■終活法話 八事山興正寺 樹田英伸  
(予約・問合せ)光明殿受付 <0120-8510-78>

大晦日も  
興正寺で。

## 第九コンサート

- 22時30分より
- 五重塔横 厄除階段にて

観覧自由

## 除夜の鐘

- 23時45分頃より
- 観音堂前鐘楼にて

[先着順]  
お一人様 100円  
(護摩本授与)  
10人1組で撞いて頂きます



## 興正寺行事カレンダー

12月

普門圓拝観時間 10:00~16:00  
休園日 12月6日(日)

| 月  | 火   | 水  | 木  | 金   | 土   | 日  |
|--|---|--|--|---|---|--|
| 30 仏滅  | 1 大安<br>▽御詠歌上級講座<br>13:30 光明殿<br>鈴村 隆弘<br><br>◎三千仏命名会 *開白・結願以外はどなたでもご参加いただけます。<br>8:00 開白法会<br>9:00/14:00   | 2 赤口   | 3 先勝   | 4 友引  | 5 先負<br>○大隨求明王 緑日<br>露店アリ<br>10:00 諸堂干支参り<br><br>大隨求明王 緑日   | 6 仏滅<br>▽御詠歌初級講座<br>14:00 光明殿<br>鈴村 智弘<br>★年忘れ<br>大餅つき大会<br>10:00 五重塔前<br>★一日修養会<br>10:00 要予約              |
| 7 大安 大雪  | 8 赤口<br>○大日如来 緑日<br>12:30 大日堂<br>理趣分經祈禱<br>煤払い<br><br>★八琴庵定休日<br><br>大日如來 緑日  | 9 先勝<br>▽遊翠の心きもの装い<br>10:00 14:00<br>竹翠亭 要予約<br>支具料 2,000円         | 10 友引<br>▽阿息觀<br>14:00 普照殿<br>杉浦 宣秀  | 11 大安 戌の日<br>▽御詠歌上級講座<br>13:30 光明殿<br>鈴村 隆弘<br>★終活セミナー<br>13:00 要予約<br>※12/12と同内容です                     | 12 赤口 戌の日<br>○安産合同祈禱会<br>14:00 本堂<br>▽御詠歌初級講座<br>14:00 光明殿<br>鈴村 智弘<br>★ブライダルフェア<br>大書院 要予約<br>★終活セミナー<br>13:00 要予約<br>※12/11と同内容です | 13 先勝<br>○虚空藏菩薩 緑日<br>露店アリ<br>10:00 法話会<br>10:00 諸堂干支参り<br>○合格祈願会<br>14:00 能満堂<br><br>虚空藏菩薩 緑日             |
| 14 友引  | 15 先負<br>○東山 奥之院緑日<br>13:00 奥之院<br>善之綱おぐり<br>▽遊翠の心 写経<br>10:00 14:00<br>竹翠亭 要予約<br>支具料 1,000円<br>西山 海良<br>▽遊翠の心 茶の湯<br>10:00 14:00<br>竹翠亭 要予約<br>支具料 1,000円<br><br>東山奥之院 緑日 | 16 仏滅<br>▽遊翠の心 写経<br>10:00 14:00<br>竹翠亭 要予約<br>支具料 1,000円<br>小松 永明 | 17 大安<br>▽御詠歌上級講座<br>13:30 光明殿<br>鈴村 隆弘<br>▽仏教入門講座<br>14:00 普照殿<br>森田 泰澄                               | 18 赤口<br>○觀世音菩薩 緑日<br>13:00 観音堂<br>護摩祈禱/法話<br>▽仏典読み解き講座<br>10:00 普照殿<br>樹田 英伸<br><br>觀世音菩薩 緑日           | 19 先勝   | 20 友引<br>▽阿息觀<br>14:00 奥之院<br>杉浦 宣秀  |
| 21 先負<br>○弘法大師 緑日<br>(終い弘法)<br>10:30 弘法堂<br>読経・法話<br>○月並御影供<br>14:00 本堂<br>▽写経写仏講座<br>11:30 光明殿<br>▽御詠歌初級講座<br>14:00 本堂出仕<br>鈴村智弘<br><br>興正寺マルシェ | 22 仏滅 冬至<br>▽遊翠の心 阿息觀<br>10:00 14:00<br>竹翠亭 要予約<br>支具料 1,000円<br>西山 海良<br><br>地藏菩薩 緑日   | 23 大安 天皇誕生日  | 24 赤口 成の日<br>○地藏菩薩 緑日<br>13:00 能満堂<br>大数珠おぐり/<br>紙芝居<br>○安産合同祈禱会<br>14:00 本堂<br><br>地藏菩薩 緑日            | 25 先勝<br>▽遊翠の心 水墨画<br>14:00 竹翠亭<br>要予約<br>支具料 2,000円  | 26 友引   | 27 先負<br>○合格祈願会<br>14:00 能満堂   |
| 28 仏滅<br>○不動明王 緑日<br>14:00 不動護摩堂<br>護摩祈禱/法話<br><br>不動明王 緑日   | 29 大安   | 30 赤口  | 31 先勝<br>☆第九コンサート<br>22:30<br>五重塔横大階段<br>☆除夜の鐘<br>23:45 鐘楼<br>○合同供養会<br>8:00/12:00/14:00/<br>16:00 圓照堂 | 1 友引<br>○新年初祈禱会<br>0:00/1:00<br>10:00/11:00/<br>13:00/15:00<br>○合同供養会<br>8:00/12:00/14:00/<br>16:00 圓照堂 | 2 先負<br>○新年初祈禱会<br>10:00/11:00/<br>13:00<br>○合同供養会<br>8:00/12:00/14:00/<br>16:00 圓照堂  | 3 仏滅 初申<br>○新年初祈禱会<br>10:00/11:00/<br>13:00<br>○初申祈禱会<br>15:00<br>○合同供養会<br>8:00/12:00/14:00/<br>16:00 圓照堂 |

さんせんぶつぶつみょううえ  
三千仏命名会三千の佛名を唱えながら、一尊ずつ「五体投地礼」を繰り返す礼拝行です。  
どなたでも自由にご参加いただけます。

## 五体投地礼



- 1 礼拝する対象に虔心合掌し一礼する。  
2 合掌を絞けたままで、右膝・左膝を地へ付ける。  
3 合掌を解きながら手のひらを上へ向け、右肘・左肘を地へ付ける。  
4 頭を地へ付ける。  
5 脊柱して合掌を行い直る。

| 日     | 月              | 12/1(火)        | 12/2(水)        | 12/3(木)        | 12/4(金)        | 12/5(土)           |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| 8:00  | 仏名開白法会         |                |                |                |                |                   |
| 9:00  | 四百札<br>(1-400) | 四百札<br>(1-400) | 四百札<br>(1-400) | 三百札<br>(1-200) |                |                   |
| 10:30 |                |                |                |                |                | 松葉 四百札<br>(1-400) |
| 14:00 | 四百札<br>(1-400) | 四百札<br>(1-400) | 四百札<br>(1-400) | 四百札<br>(1-400) | 二百札<br>(1-200) |                   |

12月1日火～5日土  
西山本堂にて 見学・参加自由  
(開白・結願を除く)